

# 審判方法Ⅰ【アーバンチアダンス】

2019～

審判項目				
部門	シニア（16歳以上）：高校生以上	ジュニア2（12～15歳）：中学生	ジュニア1（7～12歳）：小学生	評価点
1. 規定要素 テクニック Technique				55
①	Dance Expression【ダンスの表現】様々なスタイルのダンステクニック、アイコンタクト、表情、熱意、精神、観客へのアピール			10
②	Breaking Danceフロアフリーズスキル（Diff.3） 変化があること、テクニック、難易度、コンビネーション、身体の使い方、			10
③	Flexibility【柔軟性】《最低1回の前後・左右のスプリッツ》 ボディコントロール、テクニック、シャープさ、難易度、コンビネーション、 変化がある、			10
④	Cheer Jumps 《Cheer Jumps（Diff.2）》 パワー、スピード、テクニック、難易度、コンビネーション、			10
⑤	Dance lifts 《最低2回のダンスリフト》 変化がある、テクニック、難易度、コンビネーション、			10
⑥	dance Arm Motions 《最低8カウント》 シャープさ、スピード、正確さ、創造性、同時性、配置、			5
2. 演技構成 Choreography				25
①	Difficulty 【難易度】 チーム全てのメンバーで、関連要素のむずかしさ、各選手のスキル、強度、スピード、集中力の有るルーチン、リズムの変化			10
②	Visual Effects 【視覚的効果】 ダンススタイルの多様性、アクロバットの要素、スタイル変更の有効性、独創性、テクニック、ボンボンの有効性、			10
③	Flow of Routine【演技の流れ】 フロアの空間構成、スピード、迫力、バランス、移り変わり、ダンススタイルの適切性、音楽との融合、エネルギー、間隔、			5
3 実効性 Execution				20
①	Formation/Transition 【フォーメーション/変化】 間隔、多様性、完成度、レベルチェンジ、スムーズな変化、			10
②	Synchronization 【シンクロナイゼーション（同時性）】 正確さ、一貫性、難易度、完成度、シャープさ、パワー、			10
合 計				100

※(Diff.2)は異なった動きの最低の数をあらわしている。

※規定要素は全員同じ種類の動きを同時に又は波状的に行う。

※ジュニア1の部門は、ジャンプ後にスピリッツや膝での着地禁止。

# 審判方法Ⅱ 【アーバンチアダンス・ダブルス】

2019～

審判項目				
部門	シニア（16歳以上）：高校生以上	ジュニア2（12～15歳）：中学生	ジュニア1（7～12歳）：小学生	評価点
1	Dance Expression【ダンスの表現】様々なスタイルのダンステクニック、アイコンタクト、表情、熱意、精神、観客へのアピール			5
2	Compulsory elements (Technique)【規定要素 テクニック】 ・最低1回の前後・左右のスプリッツ、 ・チアジャンプ (Diff.2)、 ・ブレーキングダンス、フロアフリーズスキル (Diff.3) ・チアモーション (8カウント) 規定要素の ボディコントロールが重要			10
3	Compulsory elements (Difficulty)【難易度】 テクニック、各選手の技術度、			10
4	Breaking Dance Skills【ブレーキングダンス スキル】 変化がある、テクニック、コンビネーション、身体の使い方、			5
5	Choreography【演技構成】 ① Flow of Routine【演技の流れ】 移り変わり、ダンススタイルの適切性、 ② Formation/Transition【フォーメーション/トランジション】 間隔、多様性、完成度、レベルチェンジ、 ③ Use of Music【音楽の使用法】 音楽と空間構成 ④ Visual Effects【視覚的効果】 ダンススタイルの多様性、アクロバティック要素、独創性、テクニック、 ⑤ Synchronization【シンクロナイゼーション（同時性）】 シャープさ、正確さ、難度、完成度、			10
6	Overall Evaluation【全体評価】 エネルギッシュ、自信がある、同時性、観客へのアピール、			10
合 計				50

※(Diff.2)は異なった動きの最低の数をあらわしている。

※規定要素は全員同じ種類の動きを同時に又は波状的に行う。

※ジュニア1の部門は、ジャンプ後にスピリッツや膝での着地禁止。

# 審判方法Ⅰ

## 【アーバンチアダンス・スモールグループス】3～8名

【2】

### 審判項目

部門	シニア（16歳以上）：高校生以上	ジュニア（7～15歳） 中学生・小学生
1. 規定要素 テクニック Technique		
①	Dance Expression【ダンスの表現】 様々なスタイルのダンステクニック、アイコンタクト、表情、熱意、精神、観客へのアピール、	
②	Breaking Danceフロアフリーズスキル（Diff.3） 変化があること、テクニック、難易度、コンビネーション、身体の使い方、	
③	Flexibility【柔軟性】《最低1回の前後・左右のスプリッツ》 ボディコントロール、テクニック、シャープさ、難易度、コンビネーション、変化がある、	
④	Cheer Jumps 《Cheer Jumps（Diff.2）》 パワー、スピード、テクニック、難易度、コンビネーション、	
⑥	dance Arm Motions 《最低8カウント》 シャープさ、スピード、正確さ、創造性、同時性、配置、	
2. 演技構成 Choreography		
①	Difficulty 【難易度】 チーム全てのメンバーで、関連要素のむずかしさ、各選手のスキル、強度、スピード、集中力の有るルーチン、リズムの変化	
②	Visual Effects 【視覚的効果】 ダンススタイルの多様性、アクロバットの要素、スタイル変更の有効性、独創性、テクニック、ポンポンの有効性、	
③	Flow of Routine【演技の流れ】 フロアの空間構成、スピード、迫力、バランス、移り変わり、ダンススタイルの適切性、音楽との融合、エネルギー、間隔、	
3 実効性 Execution		
①	Formation/Transition 【フォーメーション/変化】 間隔、多様性、完成度、レベルチェンジ、スムーズな変化、	
②	Synchronization 【シンクロナイゼーション（同時性）】 正確さ、一貫性、難易度、完成度、シャープさ、パワー、	
合 計		

※(Diff.2)は異なった動きの最低の数をあらわしている。

※規定要素は全員同じ種類の動きを同時に又は波状的に行う。

# 審判方法Ⅱ

## 【アーバンチアダンス・ダブルス】

【2】

### 審判項目

部門	シニア（16歳以上）：高校生以上	ジュニア（7～15歳） 中学生・小学生
1	Dance Expression【ダンスの表現】様々なスタイルのダンステクニック、アイコンタクト、表情、熱意、精神、観客へのアピール	
2	Compulsory elements (Technique)【規定要素 テクニック】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・最低1回の前後・左右のスプリッツ、</li> <li>・チアジャンプ (Diff.2)、</li> <li>・フロアフリーズスキル (Diff.3)</li> <li>・チアモーション(8カウント)</li> </ul> 規定要素のボディコントロールが重要	
3	Compulsory elements (Difficulty)【難易度】 テクニック、各選手の技術度、	
4	Breaking Dance Skills【ブレイキングダンス スキル】 変化がある、テクニック、コンビネーション、身体の使い方、	
5	Choreography【演技構成】 ① Flow of Routine【演技の流れ】 移り変わり、ダンススタイルの適切性、 ② Formation/Transition【フォーメーション/トランジション】 間隔、多様性、完成度、レベルチェンジ、 ③ Use of Music 【音楽の使用法】 音楽と空間構成 ④ Visual Effects【視覚的效果】 ダンススタイルの多様性、アクロバティック要素、独創性、テクニック、 ⑤ Synchronization【シンクロナイゼーション(同時性)】 シャープさ、正確さ、難度、完成度、	
6	Overall Evaluation【全体評価】 エネルギッシュ、自信がある、同時性、観衆へのアピール、	
<b>合 計</b>		

※(Diff.2)は異なった動きの最低の数をあらわしている。

※規定要素は全員同じ種類の動きを同時に又は波状的に行う。



020】

評価  
点

45

10

10

10

10

5

25

10

10

5

10

5

5

80

020】

評価  
点

5

10

10

5

10

10

50